

(仮称) 本城資源化センター建設事業について
(北九州市公共事業評価に関する検討会議及び市民意見の募集結果)

1 事業概要

(1) 事業名称 (仮称) 本城資源化センター建設事業

(2) 事業箇所 八幡西区洞北町7番10号

(3) 事業費 約49億円

(4) 事業目的

老朽化した本城かんびん資源化センターを建て替え、また、不燃系粗大ごみの破碎・金属回収の機能を併せ持つ施設として整備することで、今後の安定したリサイクル体制を確保するもの。

(5) 事業方式

DBO方式(容器包装廃棄物の選別については障害者雇用を継続)

※ Design Build Operate方式

民間事業者にて設計、建設及び運営を一括して発注し、施設の所有及び資金の調達については行政が行う方式

事業位置図：



2 北九州市公共事業評価に関する検討会議

(1) 検討内容

公共事業事前評価調書（事前評価2）を提示し、「事業の必要性」を中心に検討。

(2) 検討結果

計画のとおり事業を進めていくことについて、すべての構成員から「異議はない」との意見であった。

(3) 構成員の主な意見

- ア 労働環境の改善について
- イ 選別作業への AI 技術等の導入について
- ウ 民間活力の導入について

(4) 公共事業評価に関する検討会議における留意点とその対応

資料1のとおり（3ページ）

3 市民意見の募集結果

(1) 募集期間

令和4年7月1日（金）から7月29日（金）まで

(2) 資料の配布・閲覧場所

各区役所・出張所等の市の施設 及び 北九州市ホームページ

(3) 意見提出状況

提出者1名（提出意見数1件）

(4) 提出された市民意見の概要及びこれに対する本市の考え方

資料2のとおり（4ページ）

4 今後の予定

令和4年9月	補正予算（債務負担行為）
令和4年10月頃	実施方針（案）公表
令和4年12月頃	入札公告
令和5年3月	落札者決定、仮契約
令和5年6月	本契約
令和5～7年度	契約、設計・建設、竣工
令和8年度	供用開始（事業期間20年間）

公共事業評価に関する検討会議における留意点とその対応

(対象事業：(仮称) 本城資源化センター建設事業)

	公共事業評価に関する 検討会議での意見	市の対応方針(案)
(1) 事業の必要性について	施設の老朽化の状況を鑑みるに、建替えて改善する必要がある。施設・設備の将来的な保守も考慮して、事業を進めていただきたい。	市の責務である安全かつ安定的な容器包装廃棄物及び不燃系粗大ごみの処理を確保し、市内の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、本事業を計画のとおり実施する。 また、本施設は30年間の使用を予定しているため、その期間において健全な稼働を確保する要求水準とする。事業期間においては、事業者のノウハウを活かした長期的な計画に基づく維持管理を実施し、適正なモニタリングによりその履行を確認していく。
(2) 労働環境の改善について	作業環境の向上を通して、労働環境の更なる改善を図っていただきたい。	既存の施設において課題となっている室温、臭気及び騒音等について、就労者の意見や事業者の提案を活かし、労働環境の改善に資するよう作業環境の向上を図る。
(3) 選別作業について	障害者の雇用に配慮しつつ、AI技術等の導入を今後検討していただきたい。その際には、障害者にとってより安全性の高い作業工程となるよう検討していただきたい。	AI技術の導入については、今後の技術進歩等を注視し、障害者雇用や設備の使用年限等を勘案しながら検討していく。その際は、危険物の選別にAI技術を活用するなど、作業をより安全かつ効率的に実施できるよう、必要な処理工程の見直しを含め検討する。
(4) 民間活力の導入について	民間の創意工夫を取り入れ、事業を推進していただきたい。	本事業は、事業期間を通して民間のノウハウを活かせるDBO方式とする予定であり、より良い提案を促す要求水準とするなど、民間活力の導入に配慮し事業を推進する。

提出された市民意見及びこれに対する本市の考え方

(対象事業：(仮称)本城資源化センター建設事業)

- ◆意見募集期間 令和4年7月1日(金)から令和4年7月29日(金)まで
- ◆意見提出状況 提出者：1人(郵送1人)、提出意見数：1件

1 事業の必要性に関するもの・・・1件

市民意見	本市の考え方	方針・計画への反映
<p>本城資源化センター建設は中止してリサイクル事業をコロナ感染症対策として停止したらよいと思います。</p> <p>原料は生産中止としたらよいと思います。</p> <p>水筒を利用したらよいと思います。</p> <p>昔に帰ったらどうでしょうか。 (原文のまま)</p>	<p>本事業については、市の責務である安全かつ安定な容器包装廃棄物及び不燃系粗大ごみの処理を確保し、市内の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため必要な事業と考えております。</p> <p>環境への負荷を減らし、限りある資源を次世代へ継承していくためには、リデュース・リユースを優先しながら、資源の分別などのリサイクルを徹底し、これまで以上に3Rの推進に取り組むことが重要と考えております。</p> <p>今後もエコライフステージなどのイベントや、ていたんプレス、市のホームページなどの様々な媒体を活用し3Rの推進啓発活動を継続してまいります。</p> <p>※ 3R：発生抑制「リデュース」、再使用「リユース」、再資源化「リサイクル」</p>	<p>計画への追加・修正無し</p>